

〔令和 6 年度事業報告〕

堺市博物館事業のとりくみ

- ・堺市基本計画 2025 施策との関連 戦略：堺の特色ある歴史文化 〜Legacy〜
 施策：類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進
 取組の方向性：堺の歴史・文化資源を活用した滞在、消費拡大促進
 寄与する KPI 指標名：大仙公園エリアへの来訪者数
 現状値：29.4 万人（2019 年度） 目標値：60.0 万人（2025 年度）
 （※KPI：Key Performance Indicator 重要業績評価指標）
- ・堺市 SDGs 未来都市計画 施策との関連
 ゴール：働きがいも経済成長も
 取組：茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信

■ 博物館管理事業

1 事業の目的

博物館（堺市茶室含む）及びみはら歴史博物館（指定管理）を安全で快適な施設として、市民や来館者を受け入れられるよう、施設の運営及び維持管理を適正に実施する。

2 事業内容

- 受付、警備、清掃、設備運転監視など各種委託業務の履行を監督し、適切な館の維持、管理、運営を行った。
- 博物館の施設・設備の不具合を解消するため、必要な修繕工事を行い、安全・安心な環境を整えた。

1 設備他修繕等工事

展示棟に関する工事（主要なものを抜粋）	
堺市博物館監視カメラ設備更新工事	1,766 千円
堺市博物館湧水排水ポンプ更新工事	858 千円
空調関係工事	
堺市博物館空気調和設備改修工事 工事費 ※博物館の空調設備について、老朽化や損傷が進んでいるため、令和 6 年度から 2 か年で行う博物館の空気調和設備の改修工事に着手した。	R6：89,900 千円 R7：168,000 千円
RH-2 ガス吸収式冷温水発生機バーナーモーター等取替	638 千円
その他	
堺市博物館ブロック修繕工事	630 千円
堺市茶室黄梅庵破損箇所修繕工事（杉皮、待合腰紙貼替、待合樋撤去）	508 千円
堺市立みはら歴史博物館ウッドデッキ等修繕工事	2,440 千円
堺市立みはら歴史博物館インターロッキングブロック等修繕工事	565 千円

■ 展示事業

1 事業の目的

堺の通史を示す常設展示や特定のテーマによる企画展・スポット展示等を通して、市民及び来訪者に堺市の歴史・文化を紹介することで、都市魅力の創出を図る。また、魅力的な企画展等を開催することで堺への集客促進や来館者増に寄与することを目的とする。

2 事業内容

令和6年度は以下の企画展を実施した。これらの展覧会に付随する学芸講座やワークショップなどの関連事業もあわせて実施した。

堺市博物館での展示 ※次年度重複期間開催分も含む

展示名称	会 期	趣 旨	観覧者数 (来館者数) <観覧者数/日>
企画展 百舌鳥・古市古墳群世界遺産 登録5周年記念 ハニワ大解剖－埴輪の謎を 解き明かせ！－	7月6日～9月1日	ハニワをよく観察して分かる古墳 の築造年代や当時の人々の生活な どと一緒に学ぶ。 図録を作成 (290 円)	11,552 人 (21,117 人) <222 人>
企画展 仁徳天皇陵と近代の堺	9月14日～11月10日	仁徳天皇陵をはじめとした陵墓の 管理を中心に、近代の皇室と堺と の関係を読み解く 図録を作成 (990 円)	12,468 人 (24,820 人) <244 人>
企画展 羅漢・役行者・行基 －山の修行者の系譜－	11月23日～12月22日	山林修行に励んだとされる羅漢、 役行者、行基に焦点を当て仏教美 術の優品を展示 図録を作成 (290 円)	7,909 人 (11,544 人) <304 人>
企画展 堺のくらし大百科	令和7年 1月7日～3月2日	明治時代頃から現代まで、暮らし で使われる道具の変化や当時の出 来事などを紹介	9,738 人 (15,223 人) <194 人>
企画展 鉄炮鍛冶屋敷開館1周年記念 井上関右衛門家文書の世界 －堺鉄炮の生産・販売・技術－	3月8日～5月11日	古文書を中心に、井上関右衛門家 の歴史と江戸時代の堺鉄炮につい て生産・販売・技術の側面から紹介 図録を作成 (1,340 円)	13,253 人 (27,210 人) <232 人>

※展示関連普及事業は 7～9 頁参照

さかい利晶の杜学芸グループによる展示

展示名称	会 期	趣 旨	観覧者数 (来館者数) <観覧者数/日>
企画展 堺から世界に響け 「君死にたまふことなかれ」	5 月 18 日～6 月 16 日	晶子の反戦・平和思想を表現した 代表作を多くの言語に訳して、晶 子の想いを再考	3,079 人 (19,127 人) <106 人>
企画展 在りし日の堺 －中世界の景観をたどる－	9 月 14 日～10 月 27 日	近年の調査事例で明らかになった 中世都市堺の実態、特に景観の復 元に焦点をあてて紹介（文化財課 と共催）	4,395 人 (30,349 人) <105 人>
企画展 近世界の豪商 米屋甚兵衛家 の家業と文化	11 月 2 日～ 令和 7 年 1 月 13 日	米屋甚兵衛の家業と文化の一端を 紹介し、近世都市堺の魅力にふれ る	4,938 人 (42,869 人) <77 人>
コーナー展示 能登半島災害復興応援 与謝野晶子・寛の北陸旅行	12 月 18 日～ 令和 7 年 3 月 17 日	晶子・寛が北陸旅行で詠んだ歌の 掛軸を初公開。ゆかりの地や歌碑 をパネルで紹介	企画展と 重複のため省略 (与謝野晶子記念 館内で開催)

※展示関連普及事業は 9 頁参照

■ 資料収集保存事業

1 事業の目的

堺市の歴史文化を物語る貴重な資料を保存継承し、広く発信するため、当市が所蔵する資料について、調査や修復を実施するほか、ICT を活用した公開に取り組む。

2 事業内容

○堺市に関する資料の調査を行い、所蔵者からの寄贈・寄託を受け入れて新たな資料を収蔵した。

○収蔵資料を適切な文化財空調のもとで保存できるようにし、必要に応じて修理した。また、修理した資料を研究したうえで、展示等で公開するなど活用した。

1 新収蔵資料（購入）

令和 6 年度は資料購入なし。

2 新収蔵資料（寄贈） 15 件

資料名等	主な内容
夕雲開耕地関係資料 12 件 22 点 明治時代～昭和時代	百舌鳥地域に居住し、明治時代以降大字夕雲開において耕作した横田家が保管していた明治 39 年～昭和 20 年代にかけての耕地関係資料。
堺緞通用裁ちばさみ 屈曲 3 点 湾曲 1 点（計 4 点） 昭和時代	堺緞通のパイルの毛足を整えるために用いるはさみとみられ、刻銘から堺で作られたことがわかるはさみも含まれている。
湊焼茶碗 左国松 1 口 明治時代～大正時代	広い高台から朝顔形に広がる茶碗で、高台内に見える帆掛け船に「みなと」の刻印から左国松（1865～1924）の手によるものであるとわかる。
銃身張立実験資料 一式（計 6 点） 現代	火縄銃の銃身の製造過程を研究・再現するため所蔵者が製作した再現資料。
人物埴輪 1 点 古墳時代（6 世紀）	髪表現の無い小型の人物埴輪。箱書きに「仁徳陵附近」とあるなど、百舌鳥古墳群内での採集品である可能性が高い。
堺櫛屋町油問屋中田松次郎家資料 46 件 江戸時代～昭和時代	油商いで財を成した中田松次郎家に伝来した歴史資料と美術工芸資料の資料群。
紙縫龍驤 中川一瓢斎作 1 個 昭和 17（1942）年	堺ゆかりの芸術家による高さ 30cm の紙縫り細工の龍。
軍人会五箇荘分会班長吉門氏・陸軍等関係資料 102 点 昭和時代	金岡村で帝国在郷軍人会堺市五箇荘分会班長を勤めた吉門氏が保管していた、満州事変～日中戦争における出征時の資料・写真や隊内での表彰状等。
大阪府立堺支援学校内採集埴輪片 46 点 古墳時代	銭塚古墳からの出土品と思われる埴輪片。
色紙「鮎」 粥川伸二筆 1 枚 大正時代～昭和時代	堺市生まれの日本画家 粥川伸二による水面に散った桜の花弁の下を鮎が泳いでいる画題の色紙。

一般用米穀類購入通帳 1冊 昭和時代	昭和 17 (1942) 年からの「食糧管理法」で定められた通帳で、戦前から続く食料統制の実態がわかる資料。
氏家家資料 衣装ケース・段ボール・木箱など 17 箱 1 括 江戸時代～昭和時代	福田村を開発した氏家家の経営や冠婚葬祭、陶器地区の地域社会などに関する近世文書や、堺県教科書など幕末～明治期の教育関係の版本類。
『唐詩選画本』ほか 38 点 江戸時代	江戸期に流布した『唐詩選』の詩に絵を配した和刻本 35 冊と、北斎の絵入り本 2 冊等。
与謝野晶子自筆書簡 豊田実宛 1 件 大正 7 (1918) 年	豊田実 (1885-1972 青山学院大学の初代学長) にあてた与謝野晶子自筆の書簡。
与謝野晶子自筆資料等 7 件 (8 点) 大正時代～昭和時代	晶子自筆の書簡や歌掛軸、短歌を書いた短冊など。

3 新収蔵資料 (寄託) 2 件

資料名等	主な内容
大福院阿弥陀三尊画像板碑 1 点 天文 17 (1548) 年	円頂尖頭形の板碑で、本尊阿弥陀三尊が来迎する姿が表現されている。
与謝野晶子自筆歌百首屏風 (海こひし) 2 曲 1 隻 昭和 15 (1940) 年	晶子の初期から晩年にかけて詠んだ歌 148 首を自選し書いた屏風。

4 館外貸出 (※特に明記しない資料はすべて館蔵) 4 件

資料名等	博物館・特別展等	期間
聖徳太子絵伝 第 3 幅 (寄託) 1 幅	龍谷大学 龍谷ミュージアム 特別展「文明の十字路・バーミヤン大仏の太陽神と弥勒信仰ーガンダーラから日本へー」	令和 6 年 4 月 20 日～6 月 16 日
大塚山古墳出土品 3 点	大阪府立近つ飛鳥博物館 特別展「5 周年！すごいねん！！百舌鳥・古市古墳群！！」	7 月 6 日～9 月 8 日
黒姫山古墳出土甲冑 短甲 2 点、眉庇付冑 1 点	橿原考古学研究所附属博物館 特別展「甲冑ー古墳時代の武威と技術ー」	10 月 5 日～12 月 1 日
徳川家康・家光画像 対幅 洛中洛外図屏風 1 双	宇和島市立伊達博物館 特別展「城つなぐー藤堂高虎と伊達の宇和島城×天下人と四国の城郭ー」	10 月 12 日～12 月 2 日

5 特別利用 (画像貸出) 132 件

令和 6 年度 画像貸出数	
特別利用許可申請 (有料)	47 件
庁内利用 (無料)	10 件
HP 掲載画像の利用 (無料)	75 件

6 データベース

早稲田システム開発株式会社が運用するクラウド型収蔵品データベース（I.B.ミュージアム SaaS）を使用し、収蔵品管理を行っている（令和 4 年 1 月 1 日運用開始）。当館ホームページ「堺市博物館収蔵品データベース」、「さかい利晶の杜収蔵品データベース」において収蔵品情報を公開している。

令和 6 年度掲載数（令和 7 年 3 月 31 日現在） 計 5,924 点	
堺市博物館	4,107 点
さかい利晶の杜	1,817 点

7 資料整理事業

事業名	実施内容
大塚山古墳出土品基礎整理 6,970 千円	令和 2 年度より、当館収蔵の出土品約 160 箱の種類・数量・状態の把握、また緊急性のある資料の保存処理を公益財団法人元興寺文化財研究所へ委託している。鉄製品は他に類例がないほど大量で、報告作業を同時に進め、将来は重要文化財指定をめざす。 令和 6 年度には、基礎整理を継続し、鉄鍬 50 点（個体数 191 点）の実測図作成・写真撮影・X 線写真撮影等を実施した。
堺半井家資料整理	寄贈を受けた 284 件（1,007 点）の整理目録化作業を実施した。

8 保存修理事業

資料名等	実施内容
阿弥陀来迎図 1 幅 南北朝時代 3,400 千円	令和 2 年度に寄贈された和泉国日根郡「行基講」関連資料（掛軸類、仏具類、染織類、典籍類）32 件 38 点のうちの 1 点である同資料の保存処理を行った。
与謝野晶子自筆歌掛軸（我は知る） 224 千円	与謝野晶子自筆歌掛軸について本紙の保存処理と裏打ちの仕替えを行った。
旧堺燈台燈籠部 299 千円	博物館中庭に設置している旧堺燈台燈籠部の錆落としと再塗装の修理を行った。

9 IPM・資料燻蒸

調査手法	実施内容
生物調査（トラップ回収による文化財害虫等のモニタリング）	年間 11 回 48 箇所 毎月モニタリングトラップを業者が回収・報告提出あり
燻蒸	ブンガノン（殺虫、展示場・3 階収蔵庫）およびライセント（殺カビ、ホール・学習室・ホール機械室）による燻蒸を年 1 回梅雨前に実施。
	新規受入資料に対しては、テントを設置してエキヒューム S 燻蒸を消毒室にて実施（8 月に 1 週間程度）。

※その他報告書の内容に応じて、燻蒸や IPM 作業を追加実施。

■ 普及広報事業

1 事業の目的

普及広報事業を実施することにより、堺の歴史・文化の発信拠点としての堺市博物館の魅力を広く伝え、来館を促進する。あわせて、堺の歴史・文化・伝統への理解を深め、市民の郷土愛の醸成を図ることを目的とする。

2 事業内容

○普及事業：展覧会に関連したイベントや、学校団体の受入・体験学習会等こども向けのプログラム、古文書講習会などの事業を実施した。また、博物館ボランティア制度の運営や、グッズの開発等にも取り組んだ。

○広報事業：チラシ・ポスター等広報物の作成、市広報紙・市HP・市広報課SNS・各種情報サイトへの掲出、新聞やデジタルサイネージへの有料広告の掲出等を通じて展覧会・イベント情報を発信した。

○研究事業：『堺市博物館研究報告』を作成し、共同研究「中世界における歴史文化に関する学際的研究会」をはじめとして各種研究活動を行った。

○ 普及事業

1 展示関連普及事業

堺市博物館実施分

(1) 企画展 百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録5周年記念 ハニワ大解剖－埴輪の謎を解き明かせ！－

7月6日～9月1日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
展示品解説	橘	7月6日	18人
講演会「人物埴輪のメッセージ」	明治大学教授・若狭徹氏	7月15日	100人
学芸講座「円筒埴輪の観察方法」	十河	7月20日	81人
大阪府立近つ飛鳥博物館相互連携ワークショップ	橘	7月26日	37人
ベビーカーツアー	橘	7月30日	3組7人
ハニワの日 缶バッジ作り	橘	8月20日	54人
講演会「埴輪生産からみた百舌鳥古墳群」	岡山大学助教・木村理氏	8月25日	122人
ミニ埴輪解説と邦楽コンサート	橘	8月29日	25人
展示品解説	橘	9月1日	14人

(2) 企画展 仁徳天皇陵と近代の堺

9月14日～11月10日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
展示品解説	海邊	9月22日	31人
講演会「宮内庁宮内公文書館所蔵資料からみる皇室と堺」、「濠水と阪和電鉄」	宮内庁宮内公文書館研究職・毛利拓臣氏、 関西大学教授・官田光史氏	9月22日	113人
展示品解説	海邊	10月6日	31人
講演会「いつから百舌鳥古墳群として把握されたの」	白神	10月6日	116人

か」「三次元点群データを活用した仁徳天皇陵の維持管理」	関西大学教授・小山倫史氏		
シンポジウム（会場：関西大学堺キャンパス） 基調講演「近代における仁徳天皇陵の整備と保全」 講演①「明治期の仁徳天皇陵と地域社会」 講演②「韓国の世界遺産からみた百舌鳥・古市古墳群とその時代」	関西大学客員教授・徳田誠志氏、関西大学大学院生・石川雄大氏、関西大学教授・井上主税氏	10月13日	201人
現地見学会	十河、海邊、関西大学客員教授・徳田誠志氏、関西大学大学院生・石川雄大氏	11月9日	68人

(3) 企画展 羅漢・役行者・行基－山の修行者の系譜－

11月23日～12月22日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
展示品解説	堀川	12月8日	45人
学芸講座 「羅漢・役行者・行基－山の修行者の系譜－」	堀川	12月14日	73人
展示品解説	堀川	12月21日	35人

(4) 企画展 堺のくらし大百科

令和7年1月7日～3月2日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
展示品解説&道具に触れてみよう！	阪東	1月18日	15人
昔の遊び・道具を体験してみよう！ （※10頁にも記載）	遠藤、河合	1月25日	121人
昔の遊び・道具を体験してみよう！ （※10頁にも記載）	遠藤、河合	2月23日	151人
展示品解説&道具に触れてみよう！	阪東	3月1日	30人

(5) 企画展 鉄炮鍛冶屋敷開館1周年記念 井上関右衛門家文書の世界－堺鉄炮の生産・販売・技術－

3月8日～5月11日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
展示品解説	渋谷	3月9日	15人
学芸講座「井上関右衛門家文書について」	渋谷	3月15日	31人
展示品解説	渋谷	3月20日	4人
講演会「堺鉄炮鍛冶の世界－砲術家と下職の間－」	関西大学名誉教授・藪田貫氏	4月12日	70人
学芸講座「井上関右衛門壽次一歴史を遺した最後の鉄炮鍛冶」	文化財課学芸員・山田	4月19日	57人
展示品解説	渋谷	4月29日	17人
学芸講座「博覧会の時代と井上関右衛門家」	文化財課学芸員・江坂	5月10日	30人

さかい利晶の杜学芸グループ実施分

(1) 企画展 堺から世界に響け「君死にたまふことなかれ」

5月18日～6月16日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
展示品解説	矢内	5月26日	15人

(2) 企画展 在りし日の堺—中世世界の都市景観をたどる—

9月14日～10月27日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
学芸講座「発掘成果からみた中世都市の姿」	滋賀県立大学教授・佐藤亜聖氏、文化財課学芸員・田村	10月19日	43人
展示品解説	文化財課学芸員・田村	10月19日	30人

(3) 企画展 近世界の豪商 米屋甚兵衛家の家業と文化

11月2日～令和7年1月13日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
学芸講座「近世界—持続可能な都市社会—」	矢内	11月30日	12人
展示品解説	矢内	12月1日	6人
開館10周年シンポジウム 「利晶の杜で知る近世都市の魅力」	摂泉堺郷土史研究所長・吉田豊氏、元大阪公立大学准教授・岡田光代氏、矢内	令和7年 1月12日	40人

2 学校団体等受入

令和6年度 学校来館数（延べ）一覧

	小学校	中学校	高校	合計
市内の学校	93校	11校	2校	106校
市外の学校	47校	4校	2校	53校
合計来館数	140校	15校	4校	159校

令和6年度 児童・生徒・教員等来館者人数（延べ）一覧

小学生	中学生	高校生	引率者	合計
9,233人	1,091人	85人	1,133人	11,547人

3 体験学習会 12件17回

イベント名	開催日	児童・生徒	保護者	参加者合計
古代の服を着てみよう	5月5日	34人	55人	89人
ダンボールで仁徳天皇陵古墳を作ろう	7月21日・8月3日	46人	39人	85人
プラバンで古墳キーホルダーを作ろう	7月26日・8月2日	112人	77人	189人
勾玉を作ろう	7月27日・8月18日	68人	52人	120人
博物館で学ぼう！古墳について	7月28日	5人	7人	12人
ハニワを作ろう	8月4日・8月17日	50人	39人	89人
厚紙で古代の冑を作ろう	8月11日	19人	17人	36人
勾玉ストラップを作ろう	9月14日	62人	40人	102人

博物館で体験しよう	10月5日	43人	43人	86人
色付き勾玉を作ろう	11月10日	29人	24人	53人
しめ縄作りを体験しよう	12月7日	43人	51人	94人
昔の道具・遊びを体験しよう	令和7年1月25日・2月23日	144人	145人	289人
合計		655人	589人	1,244人

4 さかいミュージアム・パス&スタンプラリー2024

実施期間：7月20日～9月1日

市内の博物館等文化施設の集客促進と活性化を目的とした事業。平成26年度から実施。堺市内在住・在学の小・中学校の児童・生徒及び堺市在住の未就学児を対象に、当事業参加館の入館料を子ども1名とともに保護者1名も無料とするミュージアム・パスを発行する。また、当事業参加館を巡るスタンプラリーも併せて実施。集めたスタンプの数に合わせて記念品等を贈呈。

参加施設	堺市博物館、堺市立みはら歴史博物館、さかい利品の杜、百舌鳥古墳群ビジターセンター、堺 アルフォンス・ミュシャ館、堺伝匠館、シマノ自転車博物館、堺市立町家歴史館（鉄炮鍛冶屋敷・山口家住宅・清学院）、黒姫山古墳ガイダンス施設、小谷城郷土館 合計 12 館
12 館への入館者数	小学生 6,254 人 中学生 244 人 未就学児 1,191 人 保護者 5,574 人 合計 13,263 人
記念品贈呈者数	缶バッジ（6 館に入館）贈呈者数 482 人 記念品（12 館全てに入館）贈呈者数 361 人

5 さかいっこ・歴史倶楽部～堺の歴史・文化を体感しよう！～

堺の歴史を深く知りたい児童に対して、5回の講座・体験メニューを実施。

対象：堺市内在住・在学の小学4～6年生の児童（5年生2人、6年生2人）

開催日	活動	参加者数
7月20日	講座「堺の歴史を知ろう」	4人
8月10日	体験「古墳について知ろう」・解説文案作り	4人
8月31日	体験「茶の湯文化と中近世の堺を学ぼう」 ※台風のため中止、次回実施	4人
9月28日	フィールドワーク「百舌鳥古墳群をめぐろう」・解説文案作り	4人
10月5日	解説文案相談日（自由参加）	4人
10月12日	博物館で展示解説	4人

6 職場体験学習「堺市博物館で職場体験をしてみよう」

歴史や博物館に興味を持つ中学生に対して、連続する2日間で博物館の仕事を体験してもらう事業。

対象：堺市内在住在学の中学生（1年生3人、2年生3人）

開催日	内容	参加者数
7月25日・26日	歴史資料の解説・体験学習会の補助等	1人
8月16日・17日		5人

7 日本と世界が会えるまち・堺 2024 プロジェクト

中学生・高校生がグループ単位で参加し、堺の国際交流の歴史などのテーマを研究発表する事業。平成25年度より実施。

主催	堺市博物館、大阪大学歴史教育研究会
協力	「日本と世界が会えるまち・堺」プロジェクト研究会、堺ユネスコ協会、NPO 法人堺なんや衆、高大連携歴史教育研究会
研究発表日	11月17日
会場	大阪大学南部陽一郎ホール（Zoom にて配信）
参加者	133人（会場102人、Zoom 参加者31人）
参加した中学校	雲雀丘学園中学校（2グループ）、帝塚山学院中学校、関西大学中部部、神戸大学附属中等教育学校、堺市立三国丘中学校、大阪教育大学附属天王寺中学校 6校7グループ
参加した高校	関西大学高等部、帝塚山学院高等学校、桃山学院高等学校（2グループ）、箕面自由学園高等学校（2グループ） 4校6グループ

8 博物館実習

博物館学芸員資格取得希望者のための事業。今年度は7月30日～8月3日実施。各大学を通じて5月に募集した。博物館の事業に関する講義及び考古・美術・歴史・民俗の各分野の資料の取り扱い実習、展示場等施設見学、広報物発送準備、体験学習補助等を実施。

受入大学：立命館大学、関西学院大学、帝塚山学院大学、大阪国際大学、甲南大学、明治大学、龍谷大学、同志社女子大学、奈良女子大学 以上9大学、10人

9 大学・大学院インターンシップ

各大学からの依頼を受け、7月～11月の5日間実施。普及事業および歴史資料整理の補助等に従事。

受入大学：大阪教育大学5人、関西大学博物館1人

10 中堅教諭等資質向上研修（社会体験研修）

勤務年数約10年の教諭を対象に行う博物館業務に関する研修。

開催日	内容	参加者数
7月23日・24日	開館準備、シアター視聴後に受付手伝い、展示場見学、学芸員の講話、館内空	8人
7月25日・26日	調について（講義）、展示解説説明、展示解説実地、体験学習会に向けて準備	8人
8月22日・23日	作業など	5人

11 フォーラム「中世都市堺の景観を考える 黄金の日々の堺はよみがえるか？」

共同研究「中世堺における歴史文化に関する学際的研究会」実施に伴い、研究成果の市民還元を目的に実施。

開催日	講座名	講師	参加者数
11 月 17 日	報告 1 慶長期以前の堺の町を考える	白神	90 人
	報告 2 絵画資料に見る堺の町	宇野	
	報告 3 港湾都市イメージの源流、堺	高屋麻里子氏 (滋賀県立大学 講師)	
	報告 4 中世後期堺の都市社会と「まち」	大澤研一氏 (大阪歴史博物館 館長)	

12 堺自由の泉大学「堺歴史探訪・考古学」講座（堺市立男女共同参画センター内）

計 15 回（1 講座 2 時間）のうち当館学芸員が 8 回、文化財課学芸員等が 7 回担当。

開催日	講座名	講師	受講者数
7 月 18 日	企画展「ハニワ大解剖」について	橘	16 人
10 月 3 日	企画展「仁徳天皇陵と近代の堺」について	海邊	16 人
11 月 7 日	井上関右衛門家文書について	渋谷	16 人
11 月 21 日	江戸時代の堺 商家の文化を考える	矢内	16 人
12 月 5 日	企画展「山の聖」について	堀川	16 人
令和 7 年 2 月 6 日	企画展「堺のくらし大百科」について	阪東	16 人
2 月 20 日	禅僧の書を味わう 沢庵と良寛	根来	16 人
3 月 6 日	晶子に魅せられた作家たち 吉屋信子と田辺聖子	木下	16 人

13 古文書講習会

近世・近代の古文書を素材に堺市域に関する史料を読み、地域の歴史について理解を深めてもらう講座。

各日 2 コマ（合計 4 コマ）実施。

開催日	講師	受講者数
令和 7 年 3 月 29 日	渋谷、矢内	43 人
3 月 30 日	阪東、島田克彦氏（桃山学院大学 教授）	40 人

14 外部団体主催講演会等への講師派遣

外部団体主催者から計 24 件の依頼を受け、職員を講師として派遣した。（詳細は資料 3 別紙）

15 博物館ボランティア

所定の研修を経て博物館ボランティアに登録したメンバーが活動している。平成 17 年度から募集、実施。令和 7 年 3 月 31 日現在 80 人。来館者に対して常設展示の解説を行う展示解説ボランティア、体験学習会や学校の団体観覧をサポートする体験学習ボランティアが活動している。令和 6 年度は、展示等についての意見交換会 3 回、企画展解説会 4 回、鉄炮鍛冶屋敷見学等館外研修 1 回を実施した。来館者アンケートでは、博物館ボランティアの展示解説に対する高評価が 64 件あった。

16 多言語音声ガイド

4 ヶ国語（日本語、英語、中国語、韓国語）に対応。令和元年度に導入。展示場内に約 30 ヶ所のガイドポイントを設け、内容は合計約 30 分。現在 22 台運用中、1 台 200 円で貸出している。

令和 6 年度利用者数と言語別の割合（令和 7 年 3 月 31 日現在）

	日本語	英語	中国語	韓国語	合計
利用者	320 人	111 人	71 人	25 人	527 人

17 堺市立健康福祉プラザ視覚・聴覚障害者センターとの連携

堺市立健康福祉プラザ視覚・聴覚障害者センター内の点字図書館に依頼し、各種情報の点字化・音声化を行っている。令和 6 年度は当館発行のチラシ情報のテキスト化・音声化を行い、点字図書館および当館ホームページ上に公開した。また、同センター内の交流サロンと連携し、サロンの参加者が企画展「ハニワ大解剖ー埴輪の謎を解き明かせ！ー」を観覧する機会を作った。6 組 10 人（うち当事者 6 人）と職員 3 人参加。企画展関連講演会等を実施する際には、要約筆記を行った。

18 ミュージアムグッズ作製

名称	販売価格	作製数
サカイタケルくんキーホルダー（胡服・甲冑）	200 円	1,200 個
収蔵品オリジナルフィギュア（甲冑・円筒埴輪）	500 円	600 個
七観山古墳帯金具ブックマーカー	870 円	300 個
古墳の竹差し	1,210 円	200 個
古墳マグネット（木製）※	200 円	660 個
古墳キーホルダー（さをり織製）※	600 円	30 個
古墳トートバッグ（さをり織ポケット付）※	1,000 円	80 個
丸皿（冑形埴輪）【新規】※	600 円	20 個
四角皿（犬形埴輪）【新規】※	600 円	20 個
長皿（犬形&円筒埴輪）【新規】※	700 円	20 個
箸置き（前方後円墳）【新規】※	300 円	70 個
箸置き（朝顔形埴輪）【新規】※	300 円	70 個

※市内の障害福祉サービス事業所に委託し、授産活動（障害のある方々が地域にある障害福祉サービス事業所で、社会参加や就労という目的をもって取り組む作業等のこと。）の一環として作製した。

19 ミュージアムショップ販売実績（グッズ・図録類）上位 5 品目

	グッズ名称	販売価格	販売数	図録名称	販売価格	販売数
第 1 位	絵はがき	50 円	2061 枚	古墳のなぜ？なに？ 百舌鳥古墳群ガイドブック	70 円	1,134 冊
第 2 位	古墳デザイン鉛筆	100 円	718 本	ハニワ大解剖	290 円	746 冊
第 3 位	犬形埴輪キーホルダー	250 円	652 個	仁徳天皇陵と近代の堺	990 円	682 冊
第 4 位	古墳マグネット	200 円	599 個	羅漢・役行者・行基	290 円	463 冊
第 5 位	犬形埴輪フィギュア	500 円	278 個	増補改訂版 百舌鳥古墳群 の陵墓古写真集 ー明治・大正・昭和初期ー	1,210 円	160 冊

○ 広報事業

1 広報事業

各企画展・セミナー等は本市広報課を通じてマスコミ各社への報道提供を行っている。また、関係機関へチラシ・ポスターを送付し、広報さかい（毎月1回発行、全世帯・全事業所配布）での市民への周知や当館ホームページや当館公式 Facebook（月4～5回）を活用して発信を行っている。本市広報課の SNS 媒体（Facebook・LINE・X（旧 Twitter））も活用している。その他の事業は以下のとおり。

(1) 有料広告掲出 801 千円

各企画展開催時にその内容を新聞広告・デジタルサイネージ・ポスター掲示などで発信（9回）。

(2) 各種媒体を通じての無料の外部発信

- ① 堺観光コンベンション協会 デジタルサイネージ（堺東）・ホームページ・Instagram
- ② 大阪観光局 デジタルサイネージ（大阪・新大阪駅観光案内所）
- ③ 一般社団法人 KIX 泉州ソーリズムビューロー ホームページ
- ④ その他（日本博物館協会『博物館研究』、イベントバンク、南海電鉄月刊情報誌『Natts』などの行事紹介）

2 報道対応

報道機関からの取材に対して、展示担当・各分野の学芸員が対応。（単位：件）

	堺市博物館	さかい利晶の杜	合計
テレビ	8 件	8 件	16 件
新聞	9 件	10 件	19 件
その他	2 件	2 件	4 件
合計	19 件	20 件	39 件

3 博物館来館者アンケート

アンケート用紙を展示場の出口に設置し、毎月集計して館の運営の参考にしている。令和6年度の回収数は379件。常設展示の感想：「とてもよい」46%（176件）、「よい」28%（108件）。本年度は企画展「仁徳天皇陵と近代の堺」開催時に、近代の天皇陵について知ることができて良かったとの感想が目立った。

○ 研究活動

- (1) 『堺市博物館研究報告』を作成（毎年3月発行）
- (2) 共同研究「中世界における歴史文化に関する学際的研究会」（令和5年度～7年度）
- (3) 堺市博物館と与謝野晶子倶楽部による共同調査研究、研究報告書の刊行
- (4) 各学芸員の調査研究活動（企画展準備、資料受入に伴う調査、市内文化財の調査等）

■ 国際機関との連携事業

1 事業の目的

アジア太平洋無形文化遺産研究センター（IRCI）との連携事業を通じ、市民に向けた無形文化遺産に関する普及啓発活動や情報発信を行い、多文化共生社会の実現に資すること、歴史的につながりの深いアジアをはじめとする国々との文化交流を促進し、地域の活性化に繋げることを目的とする。

2 事業内容

IRCI や国立民族学博物館などの研究機関と連携し、無形文化遺産理解セミナー、ワークショップを実施した。また、堺式手織綴通の技術伝承者の協力のもと、当館で常設展示中の大型の堺綴通織機を用いて、堺綴通の製織実演を展示場内で行った。上記の事業のほか、無形文化遺産に関するユネスコの取組や本市の事業を紹介する解説パネルや報告リーフレットの作成を行った。

1 無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ

事業名	講師	開催日	受講者数
第 42 回無形文化遺産理解ワークショップ「ミニ綴通を織ってみよう」	堺式手織綴通技術保存協会、堀川、徐	8 月 10 日	21 人
第 43 回無形文化遺産理解セミナー「星と風と波とーオセアニアの航海術とカヌーづくりー」	須藤健一（当館 館長）	9 月 21 日	45 人
第 44 回無形文化遺産理解セミナー「シルクロード遊牧民が受け継ぐ無形文化遺産『鷹狩』の知と技法を求めて」	相馬拓也氏（京都大学白眉センター 特定准教授）	9 月 29 日	53 人
第 45 回無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ「フィリピン民族舞踊にふれあおう」※	並木香奈美氏（アジア太平洋無形文化遺産研究センター アソシエイトフェロー）	12 月 1 日	60 人

※IRCI と当館の共催事業

2 堺の無形文化遺産普及事業

地元堺の無形文化遺産、特に堺綴通の現状、その保存や継承などを紹介

イベント名	講師等	開催日	参加者数
堺の伝統産業を体験する・堺綴通の手織体験 ※1	堺式手織綴通技術保存協会、堀川、徐	9 月 23 日	120 人
堺綴通の製織実演 ※2	堺式手織綴通技術保存協会会員	10 月 30 日、11 月 6 日、12 月 4 日、12 月 11 日	約 300 人

※1 堺市内ライオンズクラブ主催事業に堺式手織綴通技術保存協会とともに参加した

※2 常設展示している堺綴通の大型織機を用いて製織実演を行った

3 無形文化遺産パネル展示

「もっと知ろう～ユネスコ無形文化遺産とその保護」を展示場内の文化遺産展示室で開催。ユネスコが推進している無形文化遺産保護条約の仕組みや具体的な事例、日本、堺市及び IRCI の取組みについて、最新の情報を随時更新してパネル展示をしている。

4 情報発信

上記事業のインターネットやチラシによる周知に加えて、堺市の無形文化遺産普及事業に関するリーフレット『無形文化遺産事業報告』を毎年1回日本語・英語併記で発行している（最新は Volume13）。

14 外部団体主催講演会等への講師派遣 一覧

資料3 別紙

	開催日	派遣職員	派遣先	内容
1	4月25日	白神	堺経営者協会	堺の歴史文化その特徴
2	5月10日	森下	大阪府民カレッジ	与謝野晶子と源氏物語について
3	5月27日	矢内	堺俳人クラブ	「君死にたまふことなかれ」120年 与謝野晶子の想い
4	6月14日	肥田	はびきの市民大学	再発見！百舌鳥古墳群の素晴らしさ
5	7月1日	渋谷	開口神社	年間3回の開口神社歴史勉強会
6	7月25日	橘・白神	堺観光ボランティア協会	30～32期生の研修
7	7月27日	森下	高知県立文学館	高知県立文学館マイスター講座
8	8月10日	矢内	さかい利晶の杜(縁グループ)	ナイトミュージアムバックヤードツアー
9	9月7日	矢内	真宗大谷派難波別院	入門道場歴史講座「蓮如さんと一休さん」
10	9月7日	河合・遠藤	堺市学校園教職員厚生会	堺市博物館でオリジナル勾玉を作ろう
11	9月23日	堀川	堺ライオンズクラブ	堺の伝統産業を体験する
12	10月1日	橘・白神	シニア自然大学校	歴史を楽しむ科
13	10月4日	矢内	浪速三協議会防犯研修会	かつて堺を襲った大津波
14	11月16日	矢内	日本食品科学工学会関西支部	近世都市堺の食文化
15	11月20日	矢内	芦屋川シティカレッジ	一休さん—その魅力に迫る—
16	11月28日	矢内	大阪府立三国丘高校	安政大地震と堺
17	11月30日	海邊	堺市学校園教職員厚生会	百舌鳥古墳群探検ツアー
18	11月30日	橘	エリーニ・ユネスコ協会	「なにわ歴史シンポジウム」上町台地未来遺産フェスタ 世界遺産登録5周年記念 百舌鳥・古市古墳群の今までとこれから
19	12月5日	白神	前橋鈴木貫太郎顕彰会	鈴木貫太郎ゆかりの地を巡る旅 その1～生誕の地大阪府堺市
20	12月8日	橘	門真市立歴史資料館	古墳を守るガーディアン
21	12月18日	橘	堺市立みはら歴史博物館(アクティオ)	歴史文化振興事業 シリーズ講座「みはら学びのすすめⅣ」
22	1月18日	海邊	堺市産業振興センター	令和6年度百舌鳥古墳群魅力発掘講座
23	1月31日	矢内	文部科学省委託事業「令和6年度図書館地区別研修(近畿地区)」	情報拠点の連携が産み出す地域文化 —図書館と博物館—
24	3月23日	阪東・河合・遠藤	大阪府立弥生文化博物館	古墳スタンプでしおりを作ろう！